

# 「安曇野の自然まるわかり観察会」

## 実施報告

- 第1回 6月28日（日） 三角島及びその周辺（穂高）
- 第2回 8月8日（土） 烏川溪谷緑地（堀金）
- 第3回 9月27日（日） けやきの森自然園（明科）

## 第一回「安曇野の自然まるわかり観察会」

---

【日時】6月28日（日） 9:00～11:00

【場所】三角島及びその周辺（穂高）

【講師】山本雅道さん（信州大学理学部助教）

百瀬 剛さん（植生学会会員）

【参加人数】13名（大人9名、子ども4名）

【事務局スタッフ】深澤係長、中村、岡本、市川、名取、敦見

【内容】

「身近にある特定外来生物を知ろう」をテーマに、安曇野市穂高地域の三角島及びその周辺をフィールドに自然観察会を実施しました。

まずはヤナギの大木の木陰で座学。外来生物法・特定外来生物について特徴を紹介し、安曇野市内に生育する特定外来生物（植物）のアレチウリ、オオカワヂシャ、オオキンケイギクの特徴や類似種との見分け方、駆除のコツなどを説明しました。

続いて観察・実践として、アレチウリの駆除を全員参加で実施しました。駆除はアレチウリのツルの根元を探して抜き取らなければならないので、皆さん四苦八苦。苦労して抜いたツルですので、ツルの長さを比べる「ツルの長さコンテスト」も同時開催。子どもたちは、新記録が出るたびに歓声が上がっていました。上位入賞者には粗品をプレゼントしました。

実践の二番目として、オオカワヂシャの駆除を実施しました。旧河道に繁茂したオオカワヂシャを参加者皆さんで抜き取り作業。切れ藻を流すと流れ着いた先で再び繁茂してしまうので、残さず引き上げることなどの説明を聞きながら作業をしました。駆除とあわせて、水中の生物について、山本先生にいろいろと教えていただきました。

最後に、安曇野市が実施する特定外来生物リポーターについて、講座及び参加について案内があり、終了となりました。

暑い1日でしたが、皆さんお疲れ様でした。



アレチウリの駆除作業



オオカワヂシャの駆除作業

## 第二回「安曇野の自然まるわかり観察会」

---

【日時】8月8日（土） 8：30～12：00

【場所】烏川渓谷緑地（堀金）

【講師】市川 哲生さん（長野県希少野生動植物保護対策専門委員）

【参加人数】4名（大人2名、子ども2名）

【事務局スタッフ】深澤係長、中村、岡本、百瀬、関谷

【内容】

「水辺の生物を知ろう」をテーマに、長野県営の都市公園である烏川渓谷緑地にて溪流に生息する水生生物の種類や生態を学び、渓谷に生きる多様な動植物について観察をおこないました。

集合場所の駐車場から採集する水辺まで、道沿いでみられる動植物を講師の先生から教えてもらいました。クマが掘った木のうろや動物の足跡もありました。

烏川の中に入って、水生昆虫の採集をしました。夏で水量は少なめでしたが、石ころの下から様々な水生昆虫や沢ガニなどを発見。最初は触るのをためらっていた子どもたちも次第に夢中になって虫を探していました。採集が終わったら、陸上で講師の先生に名前や生態を教えてもらいました。

烏川渓谷緑地にはいろいろな動物がすんでいます。次に、そんな動物たちの足跡と自分の手を比べてみる体験をおこないました。参加者は、好きな哺乳類の足跡を選んで粘土に型を取り、隣には自分の手の型をつけて、石膏で固めました。固まった石膏はおみやげにしました。

夏の涼しい渓谷緑地でたくさんの生きものとふれあうことができました。

【教えてもらった生きもの】

両生類…ヒキガエル

昆虫……カワゲラ、トビケラ、ヤマトビケラ、シマトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、ナガレトビケラ、ヒラタカゲロウ、トゲマダラカゲロウ、コカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、タニガワカゲロウ、ヒゲマダラカゲロウ、サナエトンボのヤゴ、ガガンボの幼虫、アブの幼虫

その他の動物…ナミウズムシ（プラナリア）、ハリガネムシ、サワガニ



水生昆虫の採集



足型比べ体験

## 第三回「安曇野の自然まるわかり観察会」

---

【日時】9月27日（日） 9：30～12：00

【場所】けやきの森自然園（明科）

【講師】横内 文人さん（長野県自然観察インストラクター）

【参加人数】6名（大人4名、子ども2名）

【事務局スタッフ】深澤係長、中村、岡本、藤村、百瀬、平田

【内容】

明科地区東川手廃線敷のけやきの森にて、草木の香りや風景を感じながら「けやきの森自然園」周辺を散策し、植物の特徴や名前の由来を勉強しました。また、観察会で覚えた木の名前の知識を活かして、けやきの森内の樹木に樹名板をつける作業をおこないました。

最初に樹名板をつける樹木を勉強ということで、講師横内先生のお話を聞きながらけやきの森周辺を歩きました。該当する樹木が生育する場所では、名前のいわれや特徴、見分け方などを教えていただきました。先生のお話は興味深く、参加者みな楽しんで観察ができました。

続いて樹名板のとりつけ作業です。樹名板をつける樹木にはヒントの看板がついており、そのヒントを基に参加者が樹名板を選択しました。自分の選んだ樹名板がまちがっていたら大変！と皆さん真剣に取り組まれていました。

樹名板をとりつけた樹木は全部で30本（26種）になりました。

【樹名板をつけた樹木】

クマノミズキ、ダンコウバイ、サンショウ、カラコギカエデ、イロハモミジ、ケヤキ、ハリギリ、クリ、コナラ、ムラサキシキブ、ツルマサキ、ニセアカシア、フジ、チョウジザクラ、ウワミズザクラ、カスミザクラ、ミヤマウグイスカグラ、ヤマウコギ、ウツギ、オニグルミ、ニワトコ、ヤマブキ、ガマズミ、クサギ、ネムノキ、シラカンバ



樹木の観察



樹名板のとりつけ作業